



心のふれあい紙芝居と

音楽会の実施

—教材の制作等及び実演—

令和6年9月6日

津島市人権教育実行委員会



津島市について

津島市の概要

位置：名古屋市の西方約16 k m
(名鉄名古屋駅から約30分)

面積：25.09km²

人口：59,707人 (R6年7月1日現在)





尾張津島藤まつり
4月中旬から5月上旬まで



尾張津島天王祭
7月第4土曜日とその翌日



尾張津島秋まつり
10月第1日曜日とその前日



開扉祭（おみと）
旧暦2月1日

津島市人権教育実行委員会 委員構成

- 津島市女性の会の代表者
- 津島市小中学校人権教育研究会会長
- 学識経験者
- 津島人権擁護委員協議会津島地区委員会委員 2名
- 津島市教育委員会社会教育課長
- 津島市市民生活部人権推進課長

- 事務局 2名

事業実施の目的

幼児期：人間形成の基礎が築かれる重要な時期



いろいろな問題に対する子どもたちなりの
体験からの「気づき」が必要

想像力等を育て、自分を大切にできる感情とともに、他の人のことも思いやれるような心を育むことを目的に、いじめをテーマにした紙芝居「もう、かみなりはおちません」を作成（平成25年度）



新しい子どもたちの体験ツールの作成

いじめとは別のテーマで人権についての紙芝居を作成



勝手な思い込みや決めつけで人を見るのではなく、
一人ひとりの違いを認め、相手の立場に立って考える
視点を持ってもらうための感覚を育むことのできる
紙芝居の作成を目的として設定

事業の経過

5月16日 準備会

- ・ 会長副会長選出、事業趣旨説明、事業計画説明

8月31日 第1回委員会

- ・ 事業進捗状況報告、成果物実演日程調整

1月17日 第2回委員会

- ・ 事業報告及び会計報告

活動内容

前回の紙芝居「もう、かみなりはおちません」は
津島市内にかつて存在した津島村の昔話。
実演の際に子どもたちに津島市を身近に感じてもら
えるよう、今回も津島市に所縁のある昔話を選定す
ることにした。



前回の昔話の選定に協力をしていただいた、
委員会委員に協力を依頼。



複数の候補の中から、
「義経さまの矢塚」に決定

昔話は現代文ではあるものの、単語や内容が難しいところがいくつかあった。

委員・事務局での検討

市立保育園の
保育士に確認依頼

子どもに伝わる
表現等に手直し

紙芝居とするためには物語を表現するイラストが不可欠。前回お願いしたイラストレーターの方に今回もお願いをすることができるか確認をしたところ、承諾をいただくことができた。



よしつね やづか
義経さまの矢塚

さく くらだ たかし
え いしもと まゆこ

津島市人権教育実行委員会



その途中で、尾張の・・・



義経がその声にふりむくと・・・



けらいの弁慶が...



まず、先にサムライが・・・



サムライは勝ったとばかりに



なかなか、矢が見つからず・・・



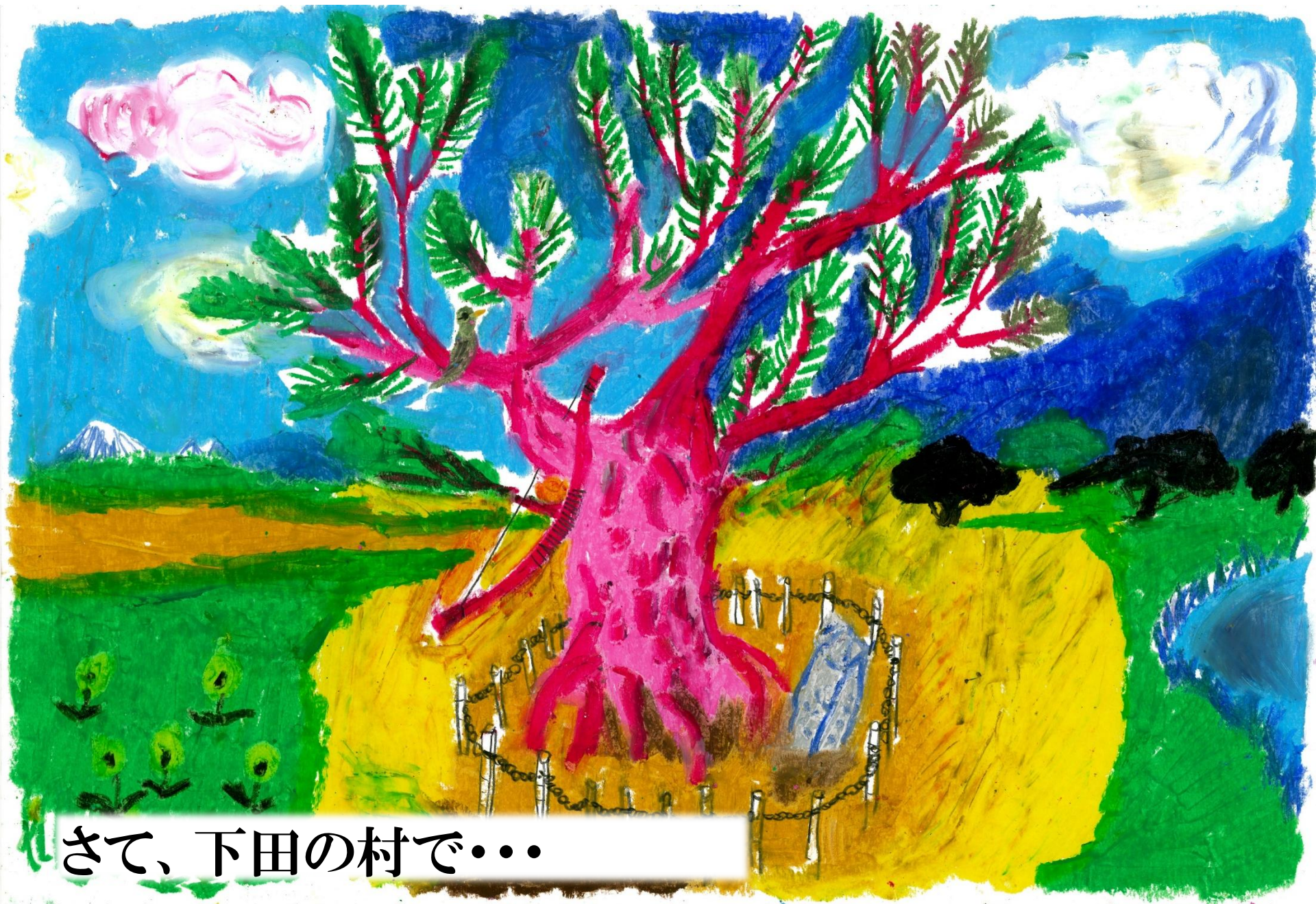
さすがは、わが殿・・・



持っていた弓が小さいと
か・・・



義経の矢が飛んでいった村
は



さて、下田の村で...

音楽で創造力、感受性が育つことの相乗効果を期待して、紙芝居の実演の際に音楽の演奏会を併せて実施することを検討

津島市の事業で毎月親子音楽教室を実施されている団体へ依頼

市内の保育園児（年長）と小学校１年生を対象とし、それぞれ１か所ずつ実演で検討。

「心のふれあい紙芝居と音楽会」と題して、幼児を対象とした実演は津島市立共存園保育所に、小学１年生を対象とした実演は津島市立南小学校に依頼。



津島市立共存園保育所



津島市立南小学校

①津島市立南小学校

令和5年12月4日（月）午前10時50分から

津島市立南小学校 1年生（約55名）



②津島市立共存園保育所

令和5年12月19日（火）午前10時から

津島市立共存園保育所

年少・年中・年長（合計約34名）



紙芝居（パワーポイント）と紙芝居の台本が入った
CD-Rを作成し、
市内の保育園、幼稚園、こども園、子育て支援セン
ター、小学校等の27か所へ配布。



実演において・・・

- ・ 子どもたちからは多くの反応と楽しかったとの感想
- ・ 皆真剣に聞いていた（委員からの振返りでも出た）



現役教員の委員からは・・・

子どもは楽しかったり面白かったりすれば真剣に聞くし、
そうでなければ絶対に聞かない。きちんと聞けたということ
とはそれだけ魅力があったということだと評価

**子どもに気づきの機会を提供する
教材として一定の効果が出せた**

ご清聴ありがとうございました